

# 若葉台地区社協だより

発行／若葉台地区社会福祉協議会 会長 太田 正廣  
旭区若葉台3-2 連合自治会館内

## 若葉台地区社会福祉協議会 第40回総会の報告

若葉台地区社会福祉協議会 会長 太田正廣

2026年5月17日、若葉台地区社会福祉協議会の第40回総会が、若葉台地域ケアプラザにて開催されました。冒頭、事務局より、代議員総数57名のうち、出席29名、委任状提出10名、計39名の出席があり、総会の成立が確認された旨の報告がありました。その後、地区社協会長より挨拶、旭区子ども家庭支援課・渡辺担当係長、旭区社会福祉協議会・三木事務局長および若葉台連合自治会・菅尾会長から来賓の挨拶をいただきました。

議案の審議では、地区社協役員から第1号議案の報告、社協会計・監事より第2号議案の報告を行い、以下の質問・回答がありました。

第1号議案：2025年度活動報告

第2号議案：2025年度収支報告書並びに会計監査報告

【議決】いずれの議案も賛成多数（過半数）により可決した。

【質問1】地域見守り活動報告会について「切り口を子ども達にして開催した」とは具体的にどういうことをしたのか。また、包括的な見守り「ご近助ほっこり活動」の情報や記録を提供してもらえるのか。「障がい児・者理解」としてどのような活動をしているのか。

【回答1】昨年8月31日に開催した地域見守り活動報告会では、小学生から大学生まで参加してもらい、若い世代から見て若葉台をどう思っているか意見を出してもらった。その中で出てきた中に「朝の小1の壁」もあった。その対応として今年から始まった「朝 Wakka」につなげることができた。包括的な見守り「ご近助ほっこり活動」は、各自治会から情報を提供してもらい、それをもとに情報交換会を行いました。各自治会の情報をまとめた資料は各自治会の方に持ち帰っていただいておりますので、今後の活動に参考にいただければと思います。「障がい児・者理解」のための活動として、若葉台文化祭のふれあい展示コーナーに参加。「障がい児・者理解」のために、若葉台の小中学校や特別支援学校をはじめ多くの関係団体から作品を提出していただき文化祭の展示コーナーに展示し、障がいがあってもなくても多様な住民の相互理解を深め、地域の方との交流を深めていきました。

また、裕楽会やテクテクの会では、障がい児・者の方と月1回ケアプラザでポッチャのゲームを行うなどの活動を行い交流を深めています。

【質問2】収支報告書の一般会計の次期繰越金の金額が大きいので備考欄に保管状況を記載してほしい。一般会計、特別会計の次年度繰越金の金額は大きいが使い道として何を想定しているのか。

【回答2】次年度は繰越金の備考欄に保管状況を記載したい。一般会計と特別会計の次期繰越金の使い道は、今年度が地区社協40周年となるので40周年記念関係で使用したいと思っているが、今後理事会でお諮りしたい。

【質問3】自治会でも社協には助成金を支出している。多額の繰越金の使い道についてはこの点も考慮して検討してほしい。

【回答3】検討します。

【質問4】東ふれあいサロンを担当しており、福祉団体助成金をいただいているが、収支報告書の事業費の「見守り活動（20万円計上）」の支出対象は何か。

【回答4】社協役員；見守り活動をしている自治会に5千円の助成金を今年3月ほっこり活動報告会の際にお渡ししている。そのほか高齢者（独居）の見守り活動にも支出予定だったが、未執行金額が発生した。今年度は十分な活動支援をしていきたい。次に、社協役員より第3号議案 および 第4号議案、第5号議案の提案があり、以下の意見があった。

第3号議案：2026年度理事、役員、監事

第4号議案：2026年度活動計画（案）

第5号議案：2026年度収支予算（案）

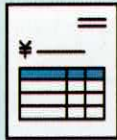
【議決】いずれの賛成多数（過半数）により可決した。

【意見・要望】若葉台外にお住まいの子育て世代に若葉台を選んでもらうために、まちづくりセンターの力を借りたらどうか。

例えば、階下に影響が及ばない1階の空き室がでたら若い世代向けにPRをしてもらうなど。

（写真右）総会の様子





若葉台地区社協より

## 賛助金のご報告

日頃より、若葉台地区社協の活動にご理解とご支援を賜り誠にありがとうございます。皆さまからいただいた賛助金(759,650円)は、福祉活動や地域交流活動、若葉台で福祉活動を行っている団体などへの助成資金として大切に使用させていただきます。

心より感謝を申し上げます。

募集の際に頂いた貴重なご意見・ご要望につきましては、関係団体へ働きかけ、解決に向けて尽力いたします。

自治会名	金額
第一自治会	84,910円
東自治会	75,782円
二丁目南自治会	149,907円
北自治会	91,200円
中央自治会	93,600円
とちのき自治会	67,200円
ゆりのき自治会	57,500円
西自治会	46,600円
もみじ自治会	67,451円
あかね自治会	25,500円

また、以下の20法人・団体の皆様にも総額180,000円のご協力を頂きました。

あらためて御礼申し上げます。(敬称略、順不同)

若葉台クリニック、若葉台住宅管理組合協議会、みらい在宅若葉台診療所、若葉台泌尿器科クリニック、222内科クリニック、永田歯科医院、はまりハ、サロン・ド・ボーテJOY、ヨコハマインドアゴルフ、ヴィンテージ・ヴィラ横浜、赤枝会、星槎高等学校、ヴェルデグレイブ横浜、堀井学園、横浜翠陵中学・高等学校、横浜調剤薬局、霧が丘整形外科皮膚科、旭住宅機器、横浜バンダイ、井原造園

〈参考〉2025年度収支報告(一般会計)

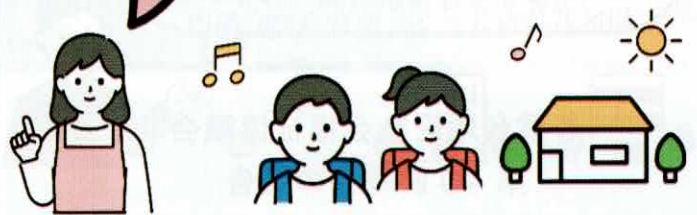
(単位:円)

	項目	予算額(A)	決算額(B)	予算比(B-A)	備考
収入	補助金・助成金	488,000	469,000	△19,000	横浜市、旭区、連合自治会
	区社協分担金	350,000	348,390	△1,610	単位自治会より(70円×4977戸)
	賛助金	1,000,000	930,650	△69,350	個人:841,486円 団体:192,000円
	事業収益	100,000	110,500	10,500	模擬店売上げ(秋まつり、社協感謝デー)
	雑収入	20,000	21,316	1,316	預金利息
	前年度繰越金	3,119,081	3,119,081		
	収入合計	5,077,081	4,998,937	△78,144	
支出	事務関係費	780,000	637,969	142,031	消耗品、広報費用、資料印刷他
	事業費	830,000	365,214	464,786	社協感謝デー、多世代交流、見守り活動ほか
	福祉団体助成金	560,000	691,000	△131,000	17団体へ助成
	なんでも相談電話料	80,000	41,183	38,817	
	区社協分担金	350,000	348,390	1,610	
	予備費	2,477,081	86,069	2,391,012	秋まつり模擬店
	次年度繰越金	0	2,829,112		
支出合計	5,077,081	4,998,937	78,144		

朝Wakkaに来ないか

～朝の子ども達への見守り活動～

朝Wakkaボランティアグループ



若葉台人口は従来の人口動向予想に比べて減少割合が小さくなり、予測より約900名多い人口数になっている。一方、今年度、若葉台小学校入学者数は期待していたほど伸びてはいない。若葉台の将来を考えると、子育て世代が若葉台に魅力を感じ新しい住まいと決め移住して来てもらうことも重要です。

そこで、朝の子ども達の居場所へのニーズや保護者の思いがどの辺にあるのかを調査するため若葉台の小学生たちの親世代に子ども達の朝の居場所に関するアンケートを実施しました。2025年7月～8月に実施した結果、保護者から100を超える回答があり、未就学児の保護者からも20通の回答がありました。

それによると、約30%の保護者が子ども達の朝の居場所活動に関心がある、70%は参加させるか分からないと回答がありました。その結果を基に、2025年8月末にケアプラザにて“若葉台のまちを考えるフォーラム——若葉台でワクワクどきどきしよう!”を、若葉台地区社協と若葉台連合自治会共同で開催しました。子ども自身や子育て世代、祖父母世代からも貴重なご意見がありました。

(次ページに続く)



特に、保護者が通勤等で自宅を出た後の時間帯に子ども達を見守る仕組みが必要とのご提言もあり、下記のイラストを含めたポスター等により、若葉台小学校開校日の午前7時から8時までの1時間を、若葉台中央のWakkaで、ボランティアが見守る事業を2026年4月より始めました。2026年5月現在、登録子ども数4名、見守りボランティア9名で、朝Wakkaでの見守りを実施中です。今年の夏休み前に再度、朝Wakkaへの参加呼びかけ、ボランティアを募集する予定です。また来年度若葉台小学校入学予定のお子さんがおられる保護者からの問い合わせも期待しています。なお本活動は若葉台地区社会福祉協議会・若葉台連合自治会・認定NPO法人若葉台の3団体共催で実施しています。

【問合せメールアドレス】

wakabadai-chikushakyo@outlook.jp



### 多世代交流イベント

#### 「みんなあつまれ!!」開催

みんなあつまれ実行委員会委員長 山田秀男

令和8年5月5日(火・祝)に今回で23回目となる多世代交流イベント「みんなあつまれ!!」が、さわやかな5月の晴天のもと、若葉台遊水池グラウンド(若葉台公園)で、午前10時から午後2時まで開催されました。遊水池の上には多数の鯉のぼりが「若葉台を盛り上げる会」により掲揚され、池の上を風になびいていました。

会場のグラウンドには、16のコーナーが設けられ、シャボン玉、ダルマおとし、一輪車、輪投げ、モルック、バルーンアート、グラウンドゴルフ、ストライダー、ドッジビー、ボッチャ、缶バッチ、紙飛行機、ポップコーン、野草てんぷら、移動サロン「ほっこり」などの催しが繰り広げられました。

また、11時30分から、会場中央のパフォーマンス広場で若葉太鼓の演奏と、

「チーム飯田」のお二人によるロック演奏が行われ、参加された皆さんから歓声が沸きました。



5月5日のこどもの日に、小さなお子さんからご高齢の方まで多世代の多くの方が参加していただき、皆さんが笑

顔でつながる一日となりました。

開催については若葉台地区社協の関係者はじめ100名を超える多くの方のご協力をいただきました。皆様ありがとうございました。



(写真上) みんな集まれの様子

～ご紹介～

### 友愛活動部会について



友愛委員は友愛活動として老人クラブに加入している方々を対象に、居場所の提供、安否確認、生活支援等をおこなっています。

#### ● やまもも会『友愛カフェ』

毎月第3(木)AM10時～「ふまねっと」と同時開催で参加しやすいのか毎回活況。



#### ● ゆりのきむつみ会『友愛の集い』

友愛の集まりとして棟別に友愛の集まりを行っています。



#### ● もみじ会『25周年祝賀会』

44人の会員が集まり、盛大に行われました。

#### ● くぬぎ会『第44回総会』

第44回総会が会員58名の出席のもとに開催され、新たに岸井一雄会長が選任されました。

#### ● ゆずりは会『定例会』

定例会に多くの会員が参加して頂ける様に趣向を凝らしています。写真の沖縄蛇三味線その一つです。



#### ● さくら会『クリーンナップ運動』

クリーンナップ運動として毎月第2・第4土曜日に公園&遊歩道の清掃を行っています。清掃終了後に藤棚の下で皆さんと休憩です。

#### ● やまゆり会『居場所』

友愛活動の一環として若葉台商店街のそば屋さん(梅の木)でカラオケをさせていただく事になりました。毎月1回、第4木曜日の午後2時半から開催しています。



どなたでも参加可。

#### ● むつき会『定例会』

今回はケアプラザから講師を招いての勉強会です。解り易く、会員にも好評です。

#### ● 北けやき会『木曜会』

毎月第一木曜日に開催です。楽しみ会(トランプ、囲碁、オセロ、麻雀、お喋り)に塗り絵が加わりました。



# 医療・健康講座



## 湿度について (横浜調剤薬局)

梅雨の時期は、雨が続き湿気や気温差も大きく、疲れやすい、体調がすぐれないと感じる方もいると思います。「体がだるい」「食欲がない」

「眠りが浅い」「頭が重い」「むくみやすい」など症状は様々ではありますが、これらは湿気や気圧の変化による自律神経のバランスの乱れが関係していると言われています。



特に高齢者は、気候の変化に影響を受けやすく、体力や食欲が落ちやすいため注意が必要です。今回は様々な体調変化の中でも特に注意していただきたい「食事量の低下」について少しまとめてみました。

食欲がないと「そうめん・パン・お茶漬け」など食べやすい物ですませてしまいがちですが、それだけでは体を支える栄養が不足しやすくなってしまいます。特に筋肉や体力維持に必要なタンパク質は意識的に摂る様に心がけることが大切です。そこで、おすすめしたいのが「豆腐」です。豆腐はのどごしが良く、消化もやさしく良質なタンパク質を含み、様々なお料理にも取り入れやすい食品です。

### たんぱく質



冷ややっこに生姜やねぎを添えたり、味噌汁やスープに入れたり調理もしやすそうです。また、たまご・納豆・白身魚なども食欲がない時に比較的食べやすいタンパク源になります。

一方、冷たい飲み物やアイスの摂り過ぎは胃腸を弱め、食欲低下につながることもあるので注意しましょう。温かい味噌汁やお茶など組み合わせ胃腸をいたわる事も大切です。

雨の日が続くと体を動かす機会も少なくなります。運動不足は筋力低下や血流悪化につながり、さらにだるさを感じてしまうことがあります。椅子に座ったまま足踏みするだけでも効果はある様です。

この時期は薬の管理にも注意が必要です。薬は温度・湿度・光により効果が低下してしまう場合があります。台所や洗面所など高温多湿の場所は避けて、風通しの良い場所で保管しましょう。一部のお薬を除いては冷蔵庫で保管せず、室温(1~30℃)で問題ないです。薬を長期保管のために冷蔵庫に入れておく方もいますが、室温との温度差によりかえって湿気る事もあるので注意しましょう。

体調崩しやすい時期は、小さな体調変化にも目を向け、健康的に過ごせる様にして欲しいと思います。



ご存じですか？

## 若葉台縁ときずなの会

～ぜひ一緒に活動しませんか～

「若葉台縁ときずなの会」は2016年4月に有志で立ち上げた「若葉台シングルの会」が前身です。13回ほど会を開催し何組の方が幸せな家庭を持っています。その後、若葉台が高齢化する中で、孤立化を防ぎ、もっと住民の皆さん全体の交流を促進したいと、名称も「若葉台縁ときずなの会」へと変更し活動しています。

2026年3月までに12回の交流会を企画。若葉台のまちを盛り上げる活動のお話や、若葉台に関係する音楽グループに出演していただき、いっしょに歌ったり、交流タイムを設けるなどして、楽しい出会いと交流の場にしていきます。高齢者から若い方々まで年齢を問わず語り合える場に、魅力あるまちづくりや、まちの活性化のためにも活動していきたいと願っています。

今年も定期総会を5月10日に開催、代表 根本幸江、事務局長 服部光雄、会計 本村俊二の役員を中心に活動してまいります。何卒よろしくお願い致します。また、ぜひ皆さまにお越しいただき、和やかな交流と出会いの場を創出して孤立化を防ぎ、まちの賑わいにも寄与できればと考えています。

今年度もいろいろ企画してまいりますので、ぜひ一緒に活動していただけたらと願っています。

## 編集部だより

昨今 秘匿性の高い SNS を使った事件が多い。しかもその事件を引き起こしている年代が若年化していると言われている。折角の近代的情報通信手段が人生を豊かにするために利用されていかないのか。パソコンが世の中に現れた35年前、書類作成時間が短縮化され頭脳労働に使える時間が増えると言われ、何とか物にしようとしたが、結局、書類作業量が増えただけと感じたのは誤りなのか。(お)